



ロータリー：
変化をもたらす

週報

入間ロータリークラブ



Rotary
第 2570 地区



2017-2018 年度 RI 会長:イアン ライズリー RI2570 地区ガバナー: 細井保雄 会長:関谷永久 幹事:宮崎正文

第 5 号 2981 回例会 2017 年 8 月 3 日 (木)

細井保雄ガバナー公式訪問例会開催



国際ロータリー第 2570 地区ガバナー公式訪問 於: 武蔵クラブ

<ビジター・ゲスト>

第 2570 地区ガバナー	行田さくらロータリークラブ	細井 保雄 様
第 3 グループガバナー補佐	飯能ロータリークラブ	木川 一男 様
第 2570 地区副幹事	行田さくらロータリークラブ	島崎 義春 様
第 2570 地区副幹事	行田さくらロータリークラブ	半田 太 様
第 2570 地区副幹事	行田さくらロータリークラブ	五十畑 和彦 様



<会長の時間> 関谷永久会長

本日は当地区ガバナー細井保雄様をお迎えしての例会そしてクラブ協議会を開催できる事を感謝申し上げます。



今年度の細井ガバナーのテーマは「RI 戦略計画を皆で一緒に実行しよう」です。そして 18 の地区目標を掲げています。

当クラブではこれらのガバナー方針に沿って活動計画を作成しました。私が一番に挙げたいのはロータリー財団のグローバル補助金を利用して一昨年の地震で一人余りが亡くなられたネパールの被災学校への教育設備装備品などの支援プロジェクトプランです。

RI ロータリー財団はクランプ氏が「世界で善いことをしよう」の趣旨で 100 年前に創立しました。1985 年に始まったポリオプラスは今も継続しています。支援を受ける人々の生活を良く変えて行く為の社会奉仕事業は持続的の可能性を高めるための継続的な活動が必要と思っています。思い遣りの心とその実践は必ずや人々の生活に変化をもたらすと RI 会長の言葉通りだと信じています。また他に当クラブではロータリー財団の地区補助金を利用し、クラブ独自で地域社会及び人々の生活に変化をもたらす事業計画も準備をしています。

私達はどんな地域でもインテグリティとリーダーシップを備え発揮して自分たちのスキルを十分に活用することで社会奉仕、社会貢献を行う事が出来ます。又、その事を地域社会から期待されるのが私達ロータリアンであるはずで、当クラブには米山記念奨学会諮問委員の PG 石川会員、クラブ奉仕委員長の水村会員、社会奉仕委員長の斎藤会員はじめ 9 名の地区役員がいます。この方たちは細井ガバナーのテーマであります戦略計画と 18 の地区目標を実施成功させるために全力で地区内クラブに働きかけ側面からサポートしていることと思います。私達はその努力に大きな期待をしています。

今月は会員増強月間です。日本の会員は私の入会した 1995 年は最盛期で平均一ク

ラブ 58 人でしたが今は 39 人です。しかし安易に数字の比較をしても増強の大きな担い手にはなりません。京都 RCPG 小谷隆一氏は講演で会員増強というものが単に会員の数だけ増やすものであってはいけないと言うことを半面考えながら、半面でそれではどの様に考えるべきかという事の答えとしては、結局自分のロータリークラブを良くすること、魅力的にすること、立派な奉仕活動をする事が大事。それを地域社会の人たちが見て聞いて或いは新聞記事等で読まれ「そんな団体があるなら自分も入りたい」と思われる。その様な状況において友人のロータリアンが手を差し伸べると良い結果として会員増強をもたらすと述べています。小谷氏はすでに大幅見直しの戦略計画が出る 15 年も前に公共性と認知度に付いてその必要性重要性を説いています。とくに若い人の入会はクラブを活気づけ、奉仕活動をしてロータリアンなら誰でも自分達の活動の影響を実感したときに人生が変るような体験をします。この様な個人的な体験こそがロータリーに入会し会員として留まり続ける理由となっていると思います。私は数の変化にばかりとらわれがちな会員増強はここに大切なポイントがあると考えます。

<幹事報告> 宮崎正文幹事

第 2 回定例理事会報告 (7 月 27 日開催)

(協議事項)

1. 9 月のプログラムについて
2. 前年度決算について
3. 万燈まつり協賛金支出について
4. 2019~20 年度及び 2020~21 年度地区ガバナーを選出するための指名委員会設置の提案について
5. ネパール人道支援の件は、次回臨時理事会に持ち越して協議
6. 九州北部豪雨災害の義援金支出について、入間クラブ独自で「大分臨海ロータリークラブ」に、300,000 円を送る

●委員長報告

地区クラブ奉仕部門 水村雅啓委員長

地区で 23 年ぶりに会員数 30 人の増加が達成できました。細井年度でもこの傾向を維持し、来年も良い報告ができるように、皆さんと協力してまいりましょう。

ロータリークラブは、私にとって「自己研鑽」の場所です。会長や色々な役職に就くことで、学ぶことが出来、向上することが出来ます。ガバナーも、より高度な人間になるためのチャンスと考えております。



2016年規定審議会でクラブ運営に大幅な柔軟性ができ、例会の頻度、場所、方法および会員種類に関する変更が含まれました。ロータリーは15年間、会員資格、職業分類、クラブ運営に革新性を取り入れ、試験的プログラムを実施してきました。

ポール・ハリスの「ロータリーとは何か」何千人のロータリアンに聞けば、何千通りの答が返ってくるだろう。しかしもしロータリーが、より寛容で、より他の人の良さを認め、より他の人と親しく交わり、助け合うようにしてくれるなら、そして、人生の美しさと喜びを発散し伝えるようにしてくれるなら、それが我々が求めるロータリーのすべてである。それ以上ロータリーに何を求めることがあろうか。非常にヒューマニズムの精神にあふれた言葉と思います。広大なコロシウムの座席が、ロータリアンで埋め尽くされ、中央にポール・ハリスが立つ、そして何か一言ロータリアンの大衆に向かって叫んでほしいと言われれば、瞬時の躊躇もなく大声で、寛容と叫ぶだろうと述べています。“寛容”は彼にとって、本当に重要な、ロータリーの心なのです。

四つのテストは、シェルドンが提唱した「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」“He profits most who serves best”のモットーで表現される職業奉仕の理念であり、もう一つは、他人のことを思い遣り、他人の為に尽くすという「超我の奉仕」“Service above self”のモットーで表現される人道的奉仕理念だと言うことができます。

エディンバラのステフェンソン博士は日く、真個の目的は唯一つである、夫れは人生を支配する最も適切なる原動力としてサーヴィスの概念を發揚することであると。現在我等が目的と呼んでいる若干のものを、彼は唯一の目的を達成するための手段方法と考えているのである。国際ロータリーの書記長ペリーは、サーヴィスを以てロータリーの基本大道となし、四個の主要機能はその基本大道を構成する通路であるとなして居る。

日本の初代のガバナーは米山梅吉さん、二代目は井坂孝さん、三代目は村田省蔵さんです。三人のガバナーとも財界の重鎮でしたが、同時にロータリーを深く愛し、良く理解しておられました。井坂さんは月信で、ロータリーの本質を的確に述べておられます。なお注意すべき事は、奉仕という言葉を意識的に避け、原語の「サーヴィス」で押し通しておられる事です。サーヴィスを奉仕と訳せば、意味が大きく変わるためでしょう。サーヴィスは、思いやりをもって、人のためになる行為です。それに対し奉仕は、第一の意味は仕えまつることであり、概念が大きく異なります。

ロータリーが112年続いているのは「良い事を行ってきた」から継続してきました。

私が作詞作曲しました「ロータリーを他人に告げる歌」は4つのテストをヒントに、ロータリーを知って貰う為に歌にしました。石川PGから3分間のスピーチを行うには、8時間の情報収集等を勉強すれば、ロータリーを人に理解して頂けるお話ができるとお聞きし、今も実行しています。

R L I 3つのスパイラル“①リーダーシップ②サービス③会員増強”とロータリーの中核的価値観“①奉仕②親睦③多様性④高潔性⑤リーダーシップ”は一致しているといえるでしょう。ロータリーは正しい職業奉仕を一生懸命実践すれば、事業が旨くいき、幸せになると思います。私も高い思いやりをもって、ロータリーをもっと実践して、もっと事業を繁栄させて、皆さんと一緒に幸せになりたいと思います。ご清聴ありがとうございました

ロータリー美術館



細井ガバナーの公式訪問を歓迎して、恒例の「ロータリー美術館」を開催。石川嘉彦会員、齋藤金作会員、水村雅啓会員、山根宏夫会員、吉沢誠十会員の説明を聞きながら美術品等を楽しんでいただきました。

第3回クラブ協議会 クラブ協議会はRLI方式を採用し討論会形式で行いました。

馬路宏樹会員・齋藤栄作会員・忽滑谷明会員のディスカッションリーダーの元、3グループに分かれ3つのテーマについて、どのように認識しているか、過去の活動、今後どのような活動をしたか等の活発な意見交換がされました。

- ①「クラブのサポートと強化を行うにあたり親睦の果たす役割」
- ②「人道的奉仕活動を行うにあたりリーダーシップの果たす役割」
- ③「公共性と認知度の向上はなぜ必要なのか」

最後に細井ガバナーより直接お考え・ご指導を頂きました。



<ニコニコBOX> 田中快枝 SAA

細井保雄ガバナー、木川一男ガバナー補佐～本日は宜しくお願い致します。
 齋藤金作君、石川嘉彦君、関谷永久君、宮崎正文君、田中快枝君、水村雅啓君、吉永章子君、齋藤栄作君、友野政彦君、忽滑谷明君、豊田義継君～細井ガバナー、木川ガバナー補佐、地区副幹事の皆様ようこそ入間クラブへ一年間宜しくお願いします。
 豊田義継君～大分臨海 RC への災害見舞金ありがとうございます。パストガバナーをはじめ皆様からよろしくと伝言がありました。定めて礼状や報告があると思います。
 杉田宏充君～早退します。 本日¥22,000 累計¥135,000

発行 入間ロータリークラブ

- 事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイツ斎竹 101号 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
- Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
- 例会場：丸広百貨店入間店 6F バンケットホール Tel. 04-2963-1111
- 例会日：木曜日 12:30～13:30 ■会報委員：吉沢誠十 吉永章子 繁田光 間野尚 佐藤輝武



Rotary